

八幡平ビジターセンターでは令和8年度自然解説スタッフを募集しています。国立公園を訪れる来訪者をおもてなしし、滞在する時間を快適に楽しんでいただくための諸々の業務を行います。

[募集職種] 自然解説スタッフ（1名）

[雇用形態] 有期雇用契約（令和8年4月1日～令和9年3月31日）

※試用期間（1か月）を設けます。

※双方合意の場合、翌年度も契約更新。（3年目以降に正社員登用の実績あり）

就業時間：8：30～17：30（休憩60分）※時間外労働有（月平均10時間程度）

勤務場所：八幡平ビジターセンター（秋田県鹿角市八幡平字大沼2）

※毎朝、鹿角市内冬期事務所に集合し、社用車に乗り合わせ通勤します。

給 与：月給182,000円

福利厚生：①休日月10～11日（シフト制）及び年末年始休日6日、有給休暇初年は10日

②借上げ宿舍提供（秋田県鹿角市内）

③社会保険（健康、雇用、労災）、厚生年金加入

④諸手当（通勤手当、超過勤務手当）

その他：受動喫煙防止措置として、屋内及び社用車内は原則禁煙。分煙可能な指定喫煙場所有。

[業務内容]

①イベント企画運営

年間20回程の募集型イベント企画及び当日の案内解説。

②ガイド業務

予約型のガイドツアー。ガイドとして個人、団体、海外旅行者などさまざまな来訪者を案内。

③施設管理業務

環境省施設八幡平ビジターセンターにおける来訪者への自然・観光情報の提供。年3回程程度の企画展の開催。HP、SNS等による情報発信。

④ツキノワグマ巡視業務

クマの出没状況をカメラ調査、痕跡調査等で把握し、遭遇事故防止のための情報発信を行う。また、普及啓発のための痕跡観察ツアーの企画運営。

⑤その他業務

- ・清掃業務 ・ 散策路維持管理 ・ キャンプ場管理業務 ・ 冬山巡視業務
- ・ 販売物の企画販売



[応募資格]

- ・通勤が可能な方。（普通自動車免許）
- ・国内外から来訪するさまざまな年齢層の来訪者に対し、丁寧かつ誠実に対応できる方。（英語でコミュニケーションをとれる方は尚可）
- ・野外で活動する体力を有する。また情報を収集し、文章及び各種資料等を作成することができる方。（写真映像撮影やイラスト作成、画像処理ソフトを扱える方は尚可）
- ・自然全般に興味関心があり、伝える仕事に意欲のある方。

[応募方法]

下記書類を郵送もしくはメール添付で送付ください。

- ・履歴書
- ・小論文

「ビジターセンターの役割」

※国立公園におけるビジターセンターの役割、スタッフとして特に取り組みたいことについて、学生時代、前職等の経験をふまえて記述ください。（文字数1,600字程度）

・締切 2025年11月21日

・書類選考後、通過された方は直接面接の日程をご案内します。

[お問い合わせ]

書類送付先：一般財団法人自然公園財団八幡平支部
担当：馬越尚夫

〒018 - 5141

秋田県鹿角市八幡平字大沼2

E-mail:umakoshi_takao@npfj.or.jp

TEL:0186-31-2714

FAX:0186-22-4008



※雇用形態、業務内容等について詳しく知りたい方は上記メールか電話にてお問い合わせください。

十和田八幡平国立公園 八幡平地域 TOWADA-HACHIMANTAI NATIONAL PARK HACHIMANTAI REGION



北東北
秋田と岩手にまたがる
八幡平！

みちのくの脊梁 ～原生林が彩る静謐の湖水、息づく火山と奥山の湯治場～

1956年、十和田国立公園に追加指定される形で国立公園に指定される。奥羽山脈の秋田・岩手にまたがる山域にあり、地域内に八幡平、岩手山、秋田駒ヶ岳等の山岳を有する。ブナやオオシラビソの森が広がり、ツキノワグマをはじめとした多くの野生動物が暮らしている。公園内に点在する多彩な温泉・湯治場を拠点に散策や縦走登山、キャンプ等を楽しむことができる。積雪3m以上の豪雪地帯で樹氷の名所としても知られている。厳冬のパウダースノー、早春の残雪期等、スノーシューやスキーによるトレッキングも魅力のエリアである。自然公園財団八幡平支部では八幡平地域の北側（八幡平周辺の山域）を主な活動エリアとしており、ビジターセンターの他、駐車場やキャンプ場の運営、散策路や公衆トイレの維持管理、ガイド業務等を行っている。



居住地について ～秋田県鹿角（かづの）市～

住まいは八幡平の麓にある町、秋田県鹿角市。秋田県の県北内陸エリアにあり、岩手県と青森県の県境部に位置している。人口は約2万7千人、スーパー、ホームセンター、コンビニ、図書館等生活に必要な店舗や施設はひと通りあり、温泉施設も多い。冬の積雪が多く市内にスキー場が3か所あり、生活面では12～3月は家の周りの除雪作業が必要。近隣の大きな町は盛岡市や弘前市で、高速道路を使って車で60～90分ほどの距離に位置する。

鹿角は鉾山で栄えた歴史があり、日本三大囃子に数えられる祭典「花輪ばやし」など文化的な遺産が数多く継承されている地域である。秋田名物のきりたんぼ鍋発祥の町としても知られている。山々に囲まれた盆地で米作り、リンゴや桃の栽培が行われていて、街部に近いところに田んぼやリンゴ畑の景観が広がっている。ネマガリタケやキノコなど季節になると産直売り場にならぶ山菜もおいしい。鹿角市は移住支援にも熱心に取り組んでいる。引っ越し費用、奨学金返還の補助制度などがあるほか、子育て支援も手厚い。



業務の紹介 ～八幡平ビジターセンタースタッフの日々の業務～



ビジターセンター来館者対応

日々訪れる多種多様な来訪者との交流。問い合わせの電話に対応していたら1日終わっていたなんてことも… さまざまな思いを持った一人一人に寄り添って、できる限りのサポートをするのが、センタースタッフのメインの業務。楽しみでもあります。



ガイド業務

国立公園の醍醐味は、自然ひろがる野外のフィールドです。20分程度の短いものから1日がかりのツアー、早朝や夜のプログラムなど、来訪者と一緒にフィールドを歩く機会が年間通してあります。現地の見どころを見極めて効果的に紹介しつつ、その魅力を共有する。一緒に過ごす時間を楽しむ。企画準備も含め総合力が必要な奥の深い業務。



ツキノワグマ対策

ツキノワグマとの遭遇リスクが常にある北東北の地。現地のクマの生態をよく知ること、クマとの事故の多くは回避することができます。カメラや痕跡調査による出没状況の把握と情報発信、痕跡観察ツアーの開催等、普及啓発を軸に対策を行っています。



閉山後、冬の仕事は・・・

八幡平は冬3m超の雪ふり積もる豪雪地。ビジターセンターなど国立公園内施設の多くが冬期休館になります。11月上旬施設の冬閉いを済ませ閉山後、スタッフは鹿角市内にある冬期事務所に下山します。4月上旬までの5か月間のながい「冬こもり」の期間です。この期間の主な業務は、豊富な雪を活かしたスノートレッキングツアーの開催。スノーシューや散策用スキーを使って、この時期だからこそ踏み入ることができる森の奥深くへ来訪者をご案内します。またキャンプ場施設の雪降り業務、スノーモービル乗入規制のための冬山巡視など、雪にまみれる業務がメインです。研修への参加、報告書のとりまとめ、次年度の計画作成、販売物の企画制作等もこの時期に行い、次年度以降の業務に備えます。